

あお もり こく  
**青森国スポ、**  
けん ない かく ち はじ  
**県内各地で始まる**  
がつ とおか かい かい しき たい かい はつか  
**10月10日に開会式、大会は20日まで**

水球女子

ハンドボール成年男子

各競技の決勝戦は国スポチャネルのライブ配信(<https://japansports.jp/japan-sports-on.jp/>)で無料視聴することができる。

国民スポーツ大会(青の煌めきあもり国スポ)は3日、青森・マエダアリーナなど県内各地で始まった。

大会は10日に同所で天皇皇后両陛下をお迎えして、開会式が行われる。会期は20日まで。青森県内を中心に37競技で都道府県対抗の熱戦が繰り広げられる。

しょう ねん だん  
**スポーツ少年団シニア・**  
かい さい  
**リーダーズスクールを開催**  
どう ふ けん にん さん か  
**28道府県から55人参加**

指導実践を行う受講生

テーマディスカッションの様子

JSPOは20、22日、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターでスポーツ少年団事業の令和8年度シニア・リーダーズスクールを開催した。15歳から19歳の55人が28道府県から参加。2泊3日の日程で次世代の地域スポーツを担う人材育成プログラムに挑戦した。

今年度はSNS投稿や広報について学ぶプログラムや、地域課題と関連したテーマディスカッションを新たに追加。和気あいあいとした雰囲気の中にも熱気を帯びた研修となった。

ISPO  
**スポーツ★ニュース**  
SPORTS NEWS  
Vol.174  
2026年9月28日発行

「スポーツニュース」のダウンロードはこちらから

競泳男子200メートル平泳ぎ決勝の大橋選手

開会式で入場行進する日本選手団

カバディ男子1次リーグ・バングラデシュ対日本

卓球男子団体で60年ぶりに金メダルを獲得した日本チーム

名古屋アジア大会が開幕  
ユニークな競技に注目 32年ぶり日本開催

eスポーツ「ぶよぶよe」決勝、プレーする栗原選手(左)

第20回アジア競技大会は19日、名古屋市のパロマ瑞穂スタジアムで開会式が行われた。夏季では1958年東京、94年広島大会に続いて32年ぶり3度目の日本開催。45カ国・地域などから1万5000人を超える選手団が参加し、10月4日までの16日間、43競技で熱戦を繰り広げる。

オリンピックにはない競技も見どころの一つ。鬼ごっこと格闘技の要素を併せ持つカバディ、足や頭を使ってネット越しにボールを打ち合うセパタクロは、ともにアジアが発祥とされる。カバディ男子の阿部哲朗選手は「ここが最高峰の舞台。実際に見て、面白さを知ってもらいたい」。コンピュータゲームで競うeスポーツ。パズルゲーム「ぶよぶよe」で金メダルを手にした栗原悠輝選手は11歳の小学生。学習塾に通い、友だちと遊びながらもプロ選手として活動。「めっちゃくちゃうれしい。年齢に関係なくできるのがeスポーツの良さ」と顔をほころばせた。

24日の競泳男子200メートル平泳ぎでは17歳の若手大橋選手が2分4秒83の世界新記録を樹立し、金メダルに輝いた。卓球男子団体決勝は日本が中国に3-2で競り勝ち、60年ぶりの金メダルを獲得した。